

## 第4回琴浦町保育園・幼稚園のあり方審議会 会議概要

日 時 平成21年3月6日 15時00分から17時00分  
会 場 役場第1会議室

= 日 程 =

### 1. 開会

15:00～

### 2. 会長あいさつ

皆様こんにちは。今日で本会も第4回目となりました。  
今日は、前回までに出ていました課題に対する解決策を宿題にしていたと思います  
既に、琴浦町小学校適正規模・配置審議会は次回が8回目となり、突っ込んだ議論  
となっております。

本会につきましても、7月が中間とりまとめということでもありますので、徐々に  
様々な意見を集約していかなくてはならない時期にきていると思います。

今後とも、皆様にはご協力をお願いしたいと思います。

### 3. 渡辺係長自己紹介

### 4. ホームページに関する意見について

ホームページに掲載させていただいておりますが、前回の委員の発言で「議会の提  
言では完全民営化を目指している。」という箇所について誤解がありました。議会の  
提言に「完全」というような記載はありませんので、訂正させていただきます。

みなさんの意見は、議事録としてそのまま載ってしまいますので、ご意見は自由に  
発言していただきたいと思いますが、提言等の記載事項につきましては、正確に読ん  
でいただきますようお願いいたします。

### 5. 議 事

#### 【資料説明】

- 三朝町の指定管理者制度等
- 平成20年度保育所児童数及び職員配置表（町基準）

- ・ 民営化の議論をするため、指定管理者制度と従来の業務委託（みどり・赤碕保育  
園）・管理委託の内容について、説明をしていただきたいと思います。次回まで  
に分かりやすい資料の提出をお願いします。

- ・ 職員配置表から、正規職員が約3分の1しかいないこの現状では保育の質の向上へつながると思えません。
- ・ 職員配置表（町基準）の措置基準の『率』とは何を表しているのですか？
- ・ この配置基準の『率』は、職員の配置基準の人数を表しております。  
例えば、0歳は、3人の乳児に対して1人の職員を配置するという基準があります。その基準に当てはめて、現在の園児で職員が何人必要かを表した数値が『率』となります。年齢ごとの合計を四捨五入し、さらに特別に必要な職員の加配等を加えて配置基準数を求めます。  
この計算式で必要とされる数を正規職員で全て補うことが本来ではありますが、正規職員で補いきれずに、臨時職員で補っているのが実態であります。
- ・ 無資格の方が多いのはなぜですか？
- ・ 現実問題として、有資格者を募集しても、なかなか集まらないという実態があります。

#### <適正規模による統廃合>

- ・ 60名から90名の間が適正規模だと考えています。国の動きとしては、H21年度から保育単価が10名刻みになりますし、集団生活・社会性を考慮したとき、やはり児童の発達にとっては、ある程度の人数がいたほうが良いと考えます。また、保育園はコミュニティの役割もあると考えています。  
少人数の保育園のことを考えたときには、分園制度をとり入れるのも一つの方策ではないかと考えます。  
やはり逢東・八橋保育園の老朽化は激しいため、園児にとって危険があるといえるのではないのでしょうか。  
それと赤碓地区にも認定子ども園のような園がひとつは必要ではないかと思えます。
- ・ 概ね90人程度とありますが、上限ばかりを考えるのではなく、下限を60人にしてはどうでしょうか。
- ・ 子供の集団としては60人が適当だと思います。ただ、年齢ごとに適当な人数が必要だと思います。
- ・ 分園というのはどういった制度でしょうか。
- ・ 例えば、古布庄保育園を鈿保育園の分園とすることはできませんか。
- ・ 分園で園長を置かず、調理については本園からの配達も可能等の基準が定められています。
- ・ 段階的に分園方式をとるというやり方もあると思います。三朝町の資料をみると、

分園は完全民営化の前段としての取り入れようとしているようです。

- また、三朝町に確認したいと思います。
- 人数等、分園になるための基準はあるのですか？
- 内部検討会で示されている適正規模というのは、施設の規模も含めて、90人程度が望ましいと書かれているのではないのでしょうか。  
子どもたちが、のびのびとした環境で育ててほしいし、かといって、広すぎるのもまた、落ち着かないといったこともあるでしょうし、やはり、一番大切なのは、保育スペースだと考えています。
- 施設の規模や定員というのではなく、実人員のことを考えなければいけないと思います。
- 実際には保育園・幼稚園を維持していくにはどのくらいの人数がいいのかが重要となります。  
20人を下回るようであれば、速やかに統合すべきだと考えます。
- 小学校区の中に1園というのを基準とするのが良いと考えていますので、そうなりますと、琴浦町小学校適正規模・配置審議会と同時進行で議論していかなくてはならないと思います。
- 保・幼・小の連続性を考慮して、町として一貫性を保って議論していってもらいたいと考えます。
- 教育には一貫性が必要だと思いますが、奥部の方が保護者の職場に近い広域入所による保育園への入園が多いという現状を考えると、必ずしも小学校区の地域の一つでないといけないという理屈は成り立ちませんね。
- 八橋幼稚園の名称を“琴浦”幼稚園に変更し、琴浦町全域で利用しやすいイメージにしたなら、八橋地区以外の方も入園されるのではないのでしょうか。
- 本日の会は、全体のスケジュールのどの段階にきておりますか？どの段階まで進んでいるのかを確認しながら議論していかないと、幅が広がりすぎて、まとめがつかない可能性が大きいと思います。
- そうですね、スケジュールにありましたように、7月末までには中間的なまとめを提出したいと考えています。さらに具体的にするためには、内部検討委員会の結論を一つのモデルとして検討していきたいと思います。
- 資料が多すぎてなかなかまとめようがないと思います。このままだと議論に一貫性がなくなるのではないかと考えます。要点を絞るためには、人数が少なくなる園をどのようにするかを考えていかなくてはならない。

## <保幼一元化について>

- ・ 実際に保育に欠けない園児が通園している割合はどのくらいおられますか？  
そのことが保幼一元化を考える上で重要であると考えます。
- ・ 現に赤碕地区の方には幼稚園がないので、実際に保育に欠ける園児の割合を知ってどうなるのでしょうか？
- ・ 現在、幼稚園児の3分の1は延長保育を利用しています。幼稚園も保育園と同じように保育時間を延長することはできます。
- ・ 八橋幼稚園に他地区の方はどのくらい通園しておられますか
- ・ 浦安地区からの1名だけです。
- ・ 保育園入所基準は以前のように厳しくないように思うのですが、今でもまだ保育に欠ける条件はありますか。
- ・ 現行制度では、保育に欠ける要件は必要です。実際のところ求職中の方でも入園できますので、その辺では、入園できる条件は緩和されてきています。
- ・ 保育に欠けているという実態調査等を行っておられるのですか。
- ・ 申請書等を出していただいております、書類審査を行っております。
- ・ 保育に欠けない園児が保育園へ通園しているかどうか、幼稚園の存続にとって重要となってくると思います。  
保育に欠けない、家庭の子どもの教育の場として、幼稚園の存在が大きいと思う。
- ・ 幼稚園と保育園では、指導内容に違いがあるのでしょうか
- ・ 保育要領も教育指針も各年齢に応じて教育したり保育したりしていますので、内容について全く違いはありません。
- ・ 本来幼稚園は午前中で、午後は家庭内で育てる。保育園は、夕方まで園で過ごしますから、環境や方法は違いますが、内容に変わりはありません。
- ・ “琴浦幼稚園”へ改名すればどうかといった意見がでましたが、年長児童の小学校入学を考慮すると、他校区の幼稚園へ通園させることは困難であると思います。
- ・ 幼稚園の名前を変えたとしても、保護者は近いところへ通わせたいと思います。
- ・ 正直なところ、近くに幼稚園があれば、通わせたいと思っていましたが、赤碕中学校区には、幼稚園はなく、保育園に通わせました。
- ・ 幼稚園の存続のためのニーズがあるのなら存続したほうがよいということだと思います。幼稚園を無くしてしまうという考えではなく、保育園も幼稚園もニーズがある以上その必要性を議論していかななくてはなりません。

- ・ 保育料と授業料に差があるのでしょうか
- ・ どちらも所得税によって、階層ごとに異なっており、基準額をみれば、授業料の方が安いようにみえますが、その階層によって、あるいは、同時入園といった世帯の状況によって、保育料の方が安い場合もあります。
- ・ 総合的にみれば、あまり差はないように思います。
- ・ 保護者負担金は、幼稚園・保育園においてほとんど変わりありません。ただし、高所得者につきましては、保育園の方が高い負担金となっております。町では、第三子軽減を実施しておりまして、負担軽減になっていると思います。
- ・ この第三子軽減についての説明は、改めてさせていただきます。
- ・ 幼稚園の老朽化については対応を考えないといけないと思いますが、幼稚園そのものは必要であるとは思いますが。
- ・ 幼稚園と保育園の機能として、明らかに何が違うのですか？
- ・ 行政として管轄が異なる等違いはありますが、機能としては同じであると考えてよいと思います。
- ・ 実際のところ、八橋保育園の3歳児から4歳児へ上がるときに、保護者の仲の良さにより、幼稚園と保育園へ進路が分かれます。こういった理由で子供が二つグループに分かれるのは、不幸なことだと思います。よって、八橋小学校区は、一つの園が良いと考えています。
- ・ 保育園と地域の関係、保護者のニーズを考慮していかなくてはならないと思います。認定子ども園への移行も念頭に置きながらの検討も必要だと思いますが、統廃合するにしても、人数等に関して、他の保育園とのバランスをみつつ検討していかなくてはならないと思います。
- ・ 逢東保育園は老朽化しているので、浦安・八橋保育園の3園をひとつの園にしてはどうでしょうか。

#### <民間委託・民営化について>

- 次回以降、検討していきたいと思います。

#### <保育内容の充実と地域の活性化について>

- ・ 現在、琴浦町は第三子保育料軽減制度等、目立つ制度により少子化対策をしておりますが、町としての将来的なビジョン・あり方を描きながら保育園・幼稚園の位置づけをしていかなくてはならないと思います。そういったことを踏まえつつ、地

域性、特に高齢者と園児との交流の重要性を考えていってほしいと思います。

- ・ 地域性の枠はどの範囲を考えておられますか？ 各地区、あるいは、各校区、東伯・赤碕地区、それとも海側と山側の範囲ですか？
- ・ 地域の枠については、年配の方の意見を踏まえて地域の範囲を考えたほうがよいのではないか。皆さんが納得されるのは、小学校区の範囲かと思われます。
- ・ 地域の枠を考えると、長い歴史の中で培ってきた地域性を考慮していかないとけません。
- ・ 古布庄保育園はなくなってほしくないが、園児数が少なく、本当に寂しい園となっております。このままでよいのかと疑問に思うこともあります。

次回以降、指定管理者制度等の資料を検討した後に、内部検討委員会の総論をたたき台として議論していきたいと思います。

## 5 閉 会

次回は、平成21年4月28日（火）19：00～